

女性管理職が語る

人の心を動かすリーダーとは

先日「プロコーチ」によるリーダー層向けコーチングを受ける機会がありました。専門トレーナーと1対1で教材もなく個人のニーズを元に会話を通して学んでいくプログラムです。管理職になり数年になりますが、改めて多くの学びと気づきがありました。

「手本となり、適切な指示でチームを導き、一人一人の成長を助けるマネジャー」。昨年現職に着任して以来、自身のこのゴールからどうステップアップするかを考えてきました。その目標もまだ完璧とは思いません

が、私が尊敬するリーダーたちは「周りをインスパイアする（鼓舞し、刺激を与える）」点が自分と違ふと感じ、この研修の課題として挙げました。

リーダーの言葉は分かりやすく、いつも自信にあふれています。研修に参加する前は「どうしたら人の心を動かす話ができるのだろう」とプレッシャーを感じていました。

研修を経て、それらは「最終的に表面に見えているもの」にすぎないことに気づかされました。

人はどんな時に強い影響力を見せた時に心が動かさるのか。一つは「研修中、トレーナーに

かけやま・ゆか 2004年入社。小売店営業や本社営業企画など営業部門でキャリアを重ねる。シンガポール勤務を経て20年よりフアブリック&ホームケア事業部の営業責任者。

身のためには深くうなずき、具体的なアクションを設定することから始めようと思いました。

もう一つは「物事の本質を知る瞬間、人は強く影響を受けるといふことを教えられる人が与えること、周りをインスパイアすることなのだと思えます。

P&G 営業統括本部
シニアディレクター

景山 由香氏



「自身の成長のために自分の時間と労力の何%を割いていますか」と聞かれました。仕事は全力で頑張っていますが、自身も成長のために聞かれることも答えられませんが、私が感銘を受けたリーダーたちはそうではありません。自ら情報を得て納得いくまで理解しようと、赴任早々から現場の議論に参加し、周りの影響を与えています。

「自分の成長のために自分の時間と労力の何%を割いていますか」と聞かれました。仕事は全力で頑張っていますが、自身も成長のために聞かれることも答えられませんが、私が感銘を受けたリーダーたちはそうではありません。自ら情報を得て納得いくまで理解しようと、赴任早々から現場の議論に参加し、周りの影響を与えています。

「自身の成長のために自分の時間と労力の何%を割いていますか」と聞かれました。仕事は全力で頑張っていますが、自身も成長のために聞かれることも答えられませんが、私が感銘を受けたリーダーたちはそうではありません。自ら情報を得て納得いくまで理解しようと、赴任早々から現場の議論に参加し、周りの影響を与えています。

「自身の成長のために自分の時間と労力の何%を割いていますか」と聞かれました。仕事は全力で頑張っていますが、自身も成長のために聞かれることも答えられませんが、私が感銘を受けたリーダーたちはそうではありません。自ら情報を得て納得いくまで理解しようと、赴任早々から現場の議論に参加し、周りの影響を与えています。

「自身の成長のために自分の時間と労力の何%を割いていますか」と聞かれました。仕事は全力で頑張っていますが、自身も成長のために聞かれることも答えられませんが、私が感銘を受けたリーダーたちはそうではありません。自ら情報を得て納得いくまで理解しようと、赴任早々から現場の議論に参加し、周りの影響を与えています。